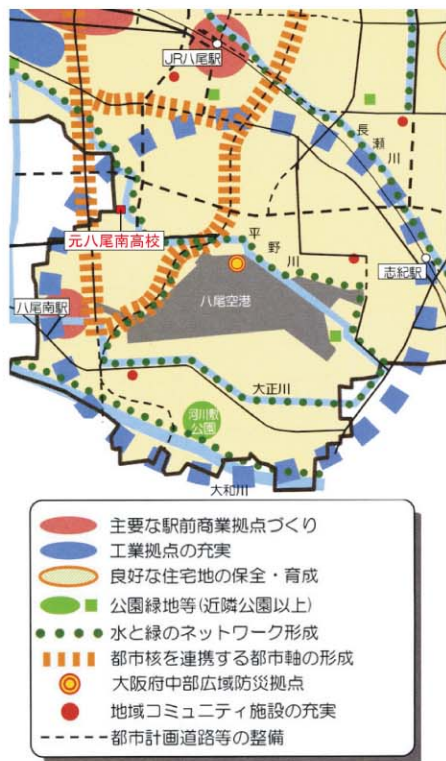


■関連計画

<八尾市都市計画マスタープラン>

- ・元八尾南高校が位置する南部地域は「水と緑豊かな安全で活力のある地域」を基本方針として掲げており、最寄り駅である八尾南駅周辺は、八尾市の新都市核として位置づけている。
- ・隣接する平野川を軸とした周辺史跡のネットワークを形成するために、平野川散策路の整備推進を掲げている。



<八尾空港周辺地域・災害に強いまちづくり構想>

- ・基本理念：八尾空港と周辺地域が調和し、市民と協働による安全・安心、活力と潤いのあるまちづくりを目指す。
- ・当該地域の課題として、公園・緑地等の整備と水と緑のネットワークの形成や適切なオープンスペースの確保、広域防災基地への連絡道路の整備などがある。

<大阪府地域防災計画・八尾市地域防災計画>

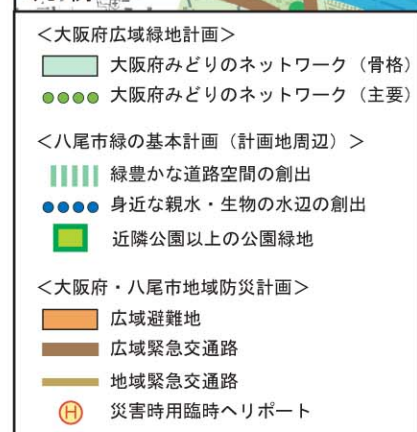
- ・八尾空港周辺は広域避難地として位置づけているとともに八尾空港隣接地には大阪府中部広域防災拠点が整備されている。また、東側を南北に通る大阪八尾線は、八尾空港周辺に至る広域緊急交通路として位置づけている。

<大阪府広域緑地計画>

- ・大阪府のみどりの骨格を形成する中央環状緑地群と金剛生駒山系、大和川に囲まれた位置にあり、隣接する平野川が大和川の緑地と中央環状緑地群を連絡している。

<八尾市緑の基本計画>

- ・歩いていくことができる、街区公園、近隣公園等の都市公園の整備を図るとともに、公共施設や歴史文化資源等と一体となった市民に身近な公園・緑地の確保を図る。また、災害時には、これらの公園・緑地を身近な避難場所として活用する。
- ・八尾空港周辺地域については緑化重点地区に選定されており、～災害に強いまちづくりと水と緑あふれるまちづくり～をテーマとしている。



■関連計画から捉えた周辺の課題

- 平野川を軸とした水・緑、歴史・文化のネットワーク拠点の創出
- 広域避難地である八尾空港周辺へと連なる安全な一次避難地の確保
- 防災機能を備えた八尾空港周辺や新都市核である八尾南駅周辺と連携した災害に強いまちづくりの推進
- 市民参加による公園を含めた自主管理・自主防災型まちづくりの推進
- 歩いていくことができる、街区公園、近隣公園等の都市公園の整備